

大塚甲山 お塚のか  
かみえ 詩人、俳人。明治十二年七月、二十五年青森縣生れ、  
四十四年六月七日歿（六五—九二）。本名壽助。筆名ことひさき、むり  
のり、むりのり山人、嘯月、四時春風書堂主人、楡廬舎、清風山房主人、  
甲山子、臥泡上人、腰纏留、蝶螺堂主人、鐘靈舎、雲水頭陀、零丁庵  
等。簡易小學校卒。明治二十五年上京、二十七年社會主義協會入會、  
雜誌『新小説』等公詩文を寄稿。一時歸郷し『青森日報』『俳壇選者』  
務める。

著書『水あふこ』（合著、明治二十二年二月）二十九年内外出版協會）、  
『俳句選』（編、内藤鳴雪選評、第一編・明治二十四年八月、二十四日、  
第二編・三十五年八月、二十一日内外出版協會）、『一茶俳句全集』（編、  
明治二十五年十一月十七日内外出版協會）、『明治新俳句集』（編、  
明治二十六年七月七日内外出版協會）、『芭蕉俳句全集』（編、訂正  
再版、明治二十九年八月十日内外出版協會）、『大塚甲山作品抄』（片  
館空齋、昭和二十九年十一月五日青森・甲山遺稿出版會）、『大塚甲山  
遺稿集・第一卷』詩集・歌集』（大塚甲山遺稿集編纂委員会編、平成  
十四年二月二十日青森・上北町文化協会）等。  
文獻、藤井止次編『大塚甲山』、『く』（昭和二十二年十月十五日青  
森・大塚甲山遺稿集刊行会）等。